

航空自衛隊仕様書			
仕様書の種類	内容による分類	装備品等仕様書	
	性質による分類	個別仕様書	
物品番号		仕様書番号	
品名 又は 件名	2000ℓ 燃料タンク車	CPS-V23142-13	
		大臣承認	昭和63年 9月28日
		作成	昭和63年 8月10日
		改正	平成29年10月 3日
			令和 5年 7月25日
作成部隊等名	補給本部		

## 1 総則

### 1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊において使用する2000ℓ 燃料タンク車（以下，“車両”という。）について規定する。

### 1.2 用語及び定義

この仕様書に用いる主な用語及び定義は、C&LPS-V00008の1.2及びC&LPS-Y00007の1.2による。

### 1.3 種類

種類は、表1によるほか、調達する種類は、調達要領指定書により指定する。

表1－種類

種類	搭載燃料等	物品番号	注記（駆動方式）
I型	軽油	2320-427-5052-5	4×4
II型	氷結防止剤 (AIA) <sup>a)</sup>	2320-427-6004-5	4×2
注 <sup>a)</sup> DSP K 1022の氷結防止剤			

### 1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は、種類による。

例 2000ℓ 燃料タンク車I型

品名	2000ℓ 燃料タンク車
----	--------------

## 1.5 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容がこの仕様書に定める内容と相違する場合は、c)を除き、この仕様書に定める内容が優先する。

### a) 規格

J I S A 8 9 0 2	ショベル及びスコップ
J I S G 3 1 0 1	一般構造用圧延鋼材
J I S G 4 3 0 5	冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
N D S Z 8 2 0 1	標準色
M I L - D T L - 6 4 1 5 9	CAMOUFLAGE COATING, WATER DISPERSIBLE, ALIPHATIC POLYURETHANE, CHEMICAL AGENT RESISTANT

### b) 仕様書

D S P K 1 0 2 2	氷結防止剤
C & L P S - V 0 0 0 0 8	車両等共通仕様書
C & L P S - Y 0 0 0 0 7	調達品等一般共通仕様書

### c) 法令等

消防法（昭和23年法律第186号）  
 危険物の規制に関する政令（昭和34年政令第306号）  
 危険物の規制に関する規則（昭和34年総理府令第55号）  
 自衛隊の使用する自動車に関する訓令（昭和45年防衛庁訓令第1号）  
 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）  
 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）  
 自衛隊の使用する自動車の保安基準等について（通達）  
 （防経艦第6002号 27.4.24）

## 2 製品に関する要求

### 2.1 設計条件

設計条件は、C & L P S - V 0 0 0 0 8 の 2.1 によるほか、次による。

#### a) 外圍条件 外圍条件は、次による。

- 1) 外気温 -40～40℃（ただし、エンジンの始動は、-20℃において支障があつてはならない。）
- 2) 相対湿度 95%以下
- 3) 耐風圧性 平均風速27 m/s以上、瞬間風速40 m/s以上
- 4) 高度 海拔 0～2000 m

品名	2000ℓ 燃料タンク車
----	--------------

- b) **走行条件** 走行条件は、次の条件を含む高速道路、一般道路及び路外の連続走行が可能でなければならない。
- 1) 縦断こう配33%以上の雨でぬれたアスファルト舗装道路
  - 2) 演習場の不整地
  - 3) 除雪した積雪地道路
- c) この車両は、自衛隊の使用する自動車に関する訓令、消防法、危険物の規制に関する政令（以下、“政令”という。）及び危険物の規制に関する規則に適合しなければならない。

## 2.2 材料・部品・加工方法

材料、部品及び加工方法は、C&LPS-V00008の2.2による。

## 2.3 構成

構成は、次による。

- a) シャシ
- b) 操縦室
- c) 動力取出装置
- d) タンク
- e) 機械室
- f) ポンプ
- g) 配管系統
- h) 流量計（Ⅰ型のみ）
- i) ホースリール
- j) ディスチャージホース
- k) サクションホース（Ⅱ型のみ）
- l) アース線
- m) 自動給油装置
- n) 消火器装置
- o) 電気装置
- p) その他

## 2.4 構造・形状・寸法・質量

### 2.4.1 構造

構造は、市販の中型キャブ付きトラック（2t以上）のシャシに、2000Lタンク及び給油装置を装備した、市販の小口配送タンクローリと同程度のものとし、軽油又は氷結防止剤（AIA）（以下、“燃料等”という。）を積載した状態で走行性、安定性及び操縦性に優れたものとするほか、次による。

なお、その他規定にない事項については、製造会社仕様とする。

品名	2000ℓ 燃料タンク車
----	--------------

a) シャシ

シャシは、次による。

1) 機関

機関は、次による。

- 1.1) 型式 水冷4サイクルディーゼル機関
- 1.2) 総排気量 2.9 L以上
- 1.3) 最高出力 73 kW以上
- 1.4) 最大トルク 245 N・m以上

2) 駆動方式

駆動方式は、Ⅰ型は総輪駆動とし、Ⅱ型は後輪駆動とする。

b) 操縦室

操縦室は、テイルト式的全鋼製のクローズドキャブとするほか、次による。

- 1) 乗車定員は、2名とする。
- 2) 昇降用握り棒を設ける。
- 3) エアコン（製造会社仕様）を取り付ける。
- 4) Ⅰ型には、灯火管制用灯火類の切替えスイッチを運転席に設ける。
- 5) 粉末消火器ABC・1.0 kg・自動車用の取付金具を助手席付近の乗車降車の妨げにならない場所に1EA取り付ける。

c) タンク

タンクは、次による。

1) 共通事項は、次による。

- 1.1) タンクは、鋼板製のサブフレームに取り付け、緩衝物を介してシャシフレームにボルト締めとし、衝撃、振動による緩み及び移動のないように頑丈に取り付ける。
- 1.2) タンクは、だ（楯）円筒形とする。
- 1.3) タンク上部に登るためのはしごを取り付ける。

2) Ⅰ型は、次による。

- 2.1) タンクは、厚さ3.2 mm以上の鋼板JIS G 3101のSS400及び同等以上の材質で溶接により気密に製作されたものとし、容量は、軽油2000 L以上とする。
- 2.2) タンク上面には、マンホールに附属した突起物の頂部より50 mm以上の高さをもつ防護枠（油とい兼用）を、厚さ2.3 mm以上の鋼板で通し板補強を行った底部の幅が120 mm以上の山形に取り付ける。  
なお、前面にドレンパイプを設ける。

品名	2000ℓ 燃料タンク車
----	--------------

- 2.3) マンホールの蓋には、計量孔を設け、その計量孔は、気密性が保たれ、取り外し容易な蓋を取り付ける。また、計量棒は、アルミ製で、目盛（100 L）を刻んだものとし、車両の動揺及び燃料等の波動、静電気起因する災害に対する防護処置を講じた構造とする。
- 2.4) タンク底の配管の取り出し部に、底弁及び検水用弁を設け、非常の場合、直ちに車両左側面及び後部から閉鎖できる手動閉鎖装置及び自動閉鎖装置を設ける。
- 3) II型は、次による。
- 3.1) タンクは、JIS G 4305のSUS304及び同等以上の材質とする。ただし、機械的性質については、I型用タンクと同等以上の性能を有する材料で気密に製作されたものとし、最大搭載量は、1900 L以上～2000 L未満とする。
- 3.2) タンク上面には、マンホールに附属した突起物の頂部より50 mm以上の高さをもつ防護枠（油とい兼用）を、厚さ1.7 mm以上のステンレス鋼板で通し板補強を行った底部の幅が120 mm以上の山形に取り付ける。  
なお、前面にドレンパイプを設ける。
- 3.3) マンホールの蓋には、計量孔を設け、その計量孔は、気密性が保たれ、取り外し容易な蓋を取り付ける。また、計量棒は、ステンレス製で、目盛（100 L）を刻んだものとし、車両の動揺及び燃料等の波動、静電気起因する災害に対する防護処置を講じた構造とする。
- d) **機械室**  
機械室は、タンク後方に取り付け、ホースリール、流量計及びラインストレーナが入り、これらの各装置の操作及び点検整備が容易で、かつ、安全に行える構造とする。また、努めて水密性を保持し、水の侵入があっても機能の損傷がないよう留意する。
- e) **配管系統**  
配管系統は、承認図面による。
- f) **流量計（I型のみ）**  
流量計は、デジタル表示とし、操作員が地上に立って容易に視認及び操作できる位置に取り付ける。
- g) **ホースリール**  
ホースリールは、次による。
- 1) ディスチャージホースを19 m以上巻取るのに十分な大きさとして、機械室内に設ける。
- 2) ホース巻取りのためのリールの回転は、油圧モータ又はスプリング式を使用する。  
なお、故障した場合でも、手動で巻取りが可能な構造とする。
- h) **ディスチャージホース**

品名	2000ℓ 燃料タンク車
----	--------------

ディスチャージホースは、導電性ゴム等により帯電防止をしたホース（ピストルノズルを含み19 m以上）とする。

なお、ホース先端に、ピストルノズルを取り付ける。

i) サクションホース（Ⅱ型のみ）

サクシオンホースは、導電性ゴム等により帯電防止したホース（5 m以上）とし、先端にドラムサクシオンノズルを取り付けられ、200 Lドラム缶からの吸入に適したものである。

なお、サクシオンホースとドラムサクシオンノズルの間に、コックを取り付ける。また非使用時には、サクシオンホース及びドラムサクシオンノズルは、車両に収納若しくは固定できなければならない。

j) 自動給油装置

自動給油装置は、次による。

- 1) 給油及び停止がディスチャージホース先端のピストルノズルで実施できなければならない。ただし、Ⅱ型用のピストルノズルは、解放の状態に固定する装置を装備してはならない。
- 2) Ⅰ型のみ燃料タンクが一杯になった場合は、自動的に給油を停止できなければならない。

k) 消火器装置

消火器装置は、シャシ左右に粉末消火器ABC・3.5 kg・自動車用の取付金具を各1 EA取り付ける。

l) 電気装置

電気装置は、次による。

- 1) 照明装置及び電気系統のスイッチ並びにソケット類は、**自衛隊の使用する自動車の保安基準等について（通達）**の規定に適合しなければならない。
- 2) 機械室内には、室内灯を取り付ける。
- 3) Ⅰ型は、2.4.1 l) 1)及び2)のほか、次による。
  - 3.1) 灯火管制（夜間行進）用の運転灯、制動灯、尾灯及び車幅灯を備える。
  - 3.2) 作業灯は、機械室上部に回転及びふぎょうが可能なものを1 EA取り付け、必要に応じて機械室上面から150 mm以上高くすることができる構造とする。

m) その他

その他は、次による。

- 1) 車両後部には、タンク及びその附属装置の損傷を防止できるバンパを取り付ける。
- 2) タンク下部に、鋼板製の工具箱を設ける。
- 3) **政令**に基づく表示板を車体の前後の視認しやすい適当な位置に各1 EA取り付ける。

品名	2000ℓ 燃料タンク車
----	--------------

- 4) 寒冷地仕様（製造会社仕様）の必要の有無は、調達要領指定書により指定する。
- 5) I型のみ船舶輸送に必要なフックを備える。
- 6) I型には、JIS A 8902に示すショベル・丸形2番の取付金具をタンク下部に取り付ける。

#### 2.4.2 形状・寸法

形状及び寸法は、図1を基準とし、細部は、承認図面による。

#### 2.4.3 質量

質量は、次による。

- |    |        |            |                                   |
|----|--------|------------|-----------------------------------|
| a) | 車両質量   | I型         | 最大4 300 kg                        |
|    |        | II型        | 最大4 140 kg                        |
| b) | 最大積載量  | I型（軽油）     | 1 700 kg以上（比重0.85）                |
|    |        | II型（氷結防止剤） | 1 835 kg以上1 932 kg未満<br>（比重0.966） |
| c) | 乗員（2名） |            | 160 kg（1名80 kgを基準とする。）            |
| d) | 車両総質量  | I型         | 最大6 160 kg                        |
|    |        | II型        | 最大6 232 kg                        |

#### 2.5 塗装

塗装は、C&LPS-V00008の2.3によるほか、次による。

- a) 車体外部 車体外部は、次のいずれかによるほか、調達要領指定書により指定する。
  - 1) MIL-DTL-64159 TYPE-II, COLOR 34094 “GREEN 383”
  - 2) NDS Z 8201の色番号2314 OD色
- b) 車体下部は、製造会社仕様の黒色（ディスクホイールを除く。）で塗装する。
- c) I型のタンク内面は、製造会社仕様とし、II型用タンクの内面は、無塗装又はAIAに対する耐腐食性を有する塗装とする。
- d) 機械室及び操縦室の内面は、さびを落とし、さび止めの後下塗り、拾い塗りをを行い、NDS Z 8201の色番号2314のOD色により塗装する。

#### 2.6 性能

##### 2.6.1 給油性能

I型の吐出量は、100 L/min以上（ノズル出口）とし、II型の吐出量は、30 L/min以上（ノズル出口）とする。

品 名	2000ℓ 燃料タンク車
-----	--------------

## 2.6.2 車両性能

車両性能は、各搭載燃料等を満載した状態において、次の性能を有しなければならない。

- a) 最高速度 90 km/h以上
- b) 最小回転半径 最大7 m
- c) 登坂能力（Ⅰ型のみ） 縦断こう配33%以上

## 2.7 製品の表示

製品の表示は、C&LPS-V00008の2.4によるほか、細部は、承認図面による。

なお、自動車番号標は、C&LPS-V00008の2.4.4の表2“車両法適用除外指定の車両”とする。ただし、“その他の車両等”とする場合は、調達要領指定書により指定する。

## 3 監督・検査

監督及び検査は、契約担当官等が定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

## 4 出荷条件

出荷条件は、商慣習による。

## 5 その他の指示

### 5.1 提出書類等

提出書類等は、次による。

- a) 類別原資料は、C&LPS-Y00007の4.1.1による。
- b) 取扱説明書等は、C&LPS-V00008の5.1.2による。
- c) 車両法適用除外指定申出書関連書類は、C&LPS-V00008の5.1.3による。ただし、調達要領指定書により“その他の車両等”と指定した場合は、不要とする。
- d) 危険物貯蔵所設置許可申請書関連書類は、C&LPS-V00008の5.1.4による。ただし、Ⅱ型については、各自治体の条例によるほか、細部は、調達要領指定書で指定する。
- e) 完成写真等は、C&LPS-V00008の5.1.5による。
- f) 車両等主要諸元資料は、C&LPS-V00008の5.1.6による。

### 5.2 自動車検査証・車歴簿

自動車検査証及び車歴簿は、C&LPS-V00008の5.3及び5.5による。

### 5.3 附属品・予備品

附属品及び予備品は、C&LPS-V00008の5.6によるほか、次による。

#### a) 附属品

- 1) 非常信号灯（道路運送車両の保安基準適合品、乾電池式、懐中電灯兼用式） 1EA
- 2) 粉末消火器ABC・3.5kg・自動車用（消防法及び国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第6条及び第7条の規格の適合品、リサイクルシール付） 2EA

品名	2000ℓ 燃料タンク車
----	--------------

- |   |     |
|---|-----|
| 3) 粉末消火器ABC・1.0kg・自動車用（消防法及び国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第6条及び第7条の規格の適合品，リサイクルシール付） | 1EA |
| 4) ホースハンドル又はスパナ   | 1EA |
| 5) 配管図表   | 1EA |
| 6) アース棒   | 1EA |
| 7) サクションホース（Ⅱ型のみ）   | 1本  |
| 8) ドラムサクションノズル（Ⅱ型のみ）  | 1EA |

b) 予備品

予備タイヤ（ディスクホイール付）1本のほか，スタッドレスタイヤ（1両分）の必要の有無は，調達要領指定書により指定する。

5.4 承認用図面・色見本

承認用図面及び色見本は，次による。

a) 承認用図面

契約の相手方は，C&LPS-Y00007の4.3により，次の承認用図面を作成の上，提出し，承認を受けなければならない。

- 1) 外形図（寸法及び質量を含む。）
- 2) 塗装配置図
- 3) 航空自衛隊標識図
- 4) 銘板図
- 5) その他必要な図面

b) 色見本

契約の相手方は，C&LPS-Y00007の4.3により，車体外部の塗料の色について，色見本を作成の上，提出し，承認を受けなければならない。

なお，色見本の細部については，C&LPS-V00008の2.3.4による。

5.5 装備品等不具合報告(UR)対策

装備品等不具合報告(UR)対策は，C&LPS-Y00007の4.4による。

5.6 技術変更提案（ECP）

技術変更提案（ECP）は，C&LPS-Y00007の4.7による。

単位 mm

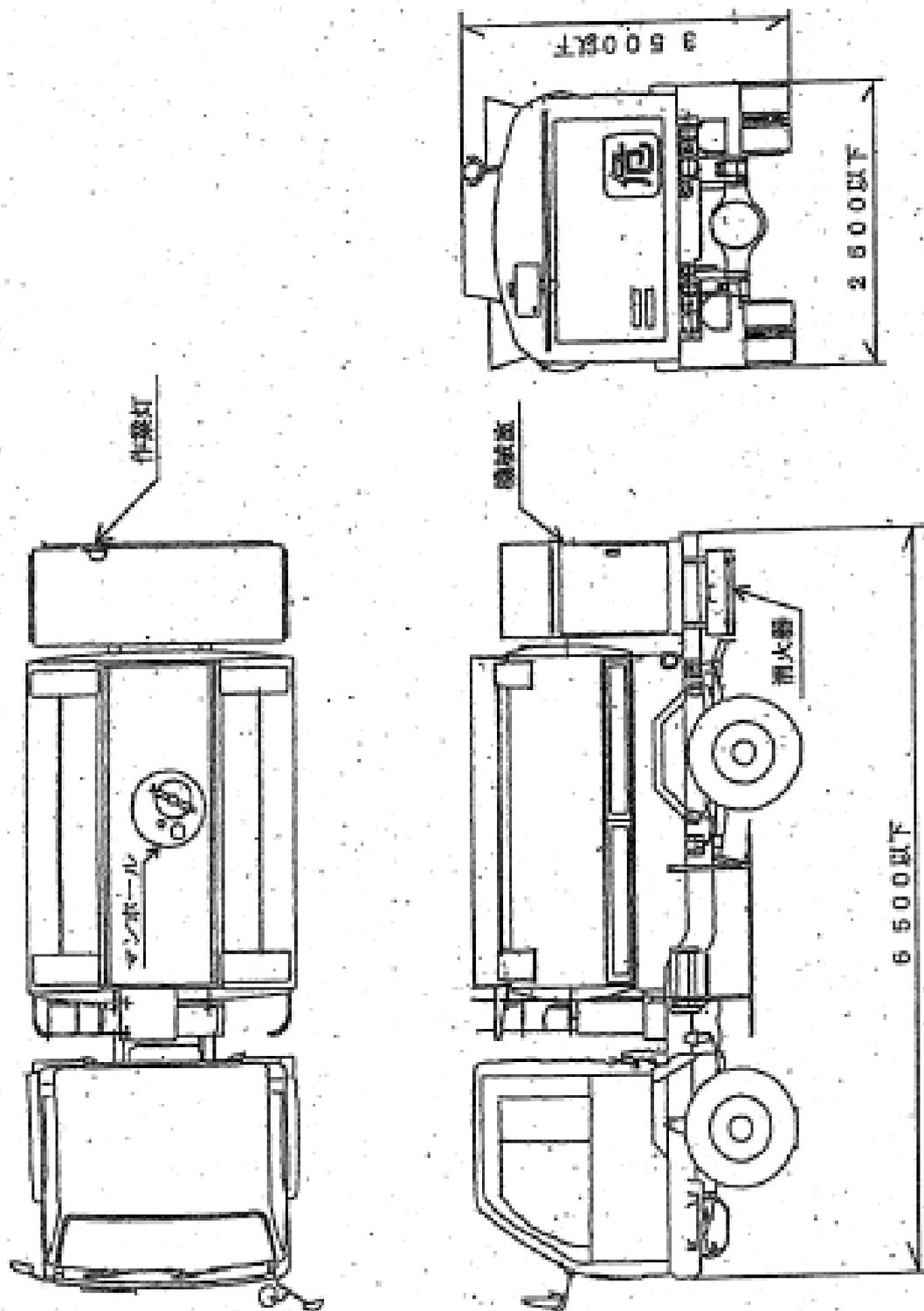


図1-2000ℓ 燃料タンク車の構造、形状及び寸法